

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会

令和元年度 第5回理事会 議事録

開催日時：令和2年2月14日（金）午後6：30から

開催場所：技師会事務所

出席者：浅野、長谷部、森（さ）、佐藤、澤野、柴、川合、斎藤、松原、外川、松浦、松本、乙訓（代理）、兼平、羽柴、後藤

欠席者：藤本、熊崎、中村、土屋、渡邊、高崎、糸山、森（晴）

議長：浅野敦会長

議事録：後藤庶務部長

【各種連絡事項】

議長：浅野敦会長により進行された。

【庶務部より】

1. 日本臨床衛生検査技師会より連絡

(1) 会費の送金について

- ・令和元年11月締め分、会費集金処理ができ12月27日付で銀行口座に振り込まれた。

送金内訳

令和元年度会費 10,000円×1名=10,000円

令和元年度入会金 500円×1名=500円

送金合計額 10,500円 の会費送金があった。

入金者リストは、都道府県技師会専用会費管理システムで確認できる。また口座振替後、退会の届出があった方については各都道府県で返金処理を行う。（後藤庶務部長）

(2) 令和元年度「生涯教育推進研修会助成金」の送金について

- ・12月27日付で銀行口座に振込送金された。送金額は¥122,500円。

助成金内訳

2019/11/23 秋季拡大研修会 ¥50,000円

（後藤庶務部長）

- ・1月31日付で銀行口座に振込送金された。送金額は¥64,000円。

助成金内訳

2019/12/15 臨床一般部門研修会 ¥32,500円

2019/12/31 令和元年度 臨床生理部門（超音波分野・精度管理）研修会 ¥31,500円

(3) 令和2年度 ベッドサイド研修会の中止について

- ・令和2年度については一旦中止。新たに名称のみならず、内容も再考していく。理由としては、現在、厚労省において「医師の働き方改革を進めるためのタスク・シスト/シェアの推進に関する検討会」が開催され、当会としても臨床検査技師に対して移管可能とする業務を要望しているため。(浅野会長)

(4) 令和2・3年度理事候補者の推薦について

- ・今年度の日臨技の総会において、定款の改定があり各県から一人ずつ理事を選出するとなったため推薦の依頼があった。前回の常理事会で浅野会長が選出された。(浅野会長)

(5) 令和2年度 各賞受賞者決定について

- ・地域貢献賞として、中部圏支部から推薦した兼子さんが受賞された。また、最優秀演題賞に岐阜大学の林さんが選出された。みなさん頑張って頂いて受賞されることを願います。(浅野会長)

(6) 「会員施設実態調査」並びに「会員意識調査」実施への協力について

- ・調査期間が2/16(日)まで延長された。1/30現在では17%ほどの回答率であったため、岐阜県会員に一齐メールをした。期間内(土日2日間しかないが…)に案内ができれば、案内をお願いします。「会員施設実態調査」並びに「会員意識調査」は毎年恒例の調査のため、協力をお願いします。(浅野会長)

(7) 第72回保健文化賞候補者の推薦について

- ・該当者がみえましたらお知らせください。応募締め切りは4/17(金)まで。(浅野会長)

(8) 新型コロナウイルス感染症について

- ・一齐メールで会員に送信した。自由民主党「新型コロナウイルス関連肺炎対策本部」が開催され、新型コロナウイルスに関する対応状況が発表された。周知をお願いします。また、日臨技HPのも同様の案内があり、厚生労働省へのリンクも張り付けてある。2月の定期便にもこれらの案内を同封し、郵送するので確認をお願いします。昨日、日臨技に感染対策本部が置かれ、現在横浜に停泊しているクルーズ船に日臨技会員技師(関東中心の技師を募る)が検体採取に100名程入る(明日、明後日の2日間)こととなる。

2. 日本臨床検査技師連盟より

(1) 令和2年臨床検査技師連盟活動等について

- ・1/24(金)に連盟執行委員会が開催された。令和元年連盟決算書(1月~12月)について、

会員収入の予算額は 8,000 口 (2,400 万円) を予定したが、会員が集まらず 2,218 口 (7,473,000 円) と収入が大きく減っている。令和 2 年連盟事業計画のビジョンとして、政策実現のため継続的な組織内国会議員の擁立がある。現在は宮島議員 1 名のため、継続的な組織内国会議員の擁立のために目標として、①自民党への入党目標：2,000 人/年 ②連盟会員入会目標：20,000 人/年とした。岐阜県の自民党員加入目標は 26 名、連盟加入目標は 110 名となっている。現理事は継続的に、新理事は加入をお願いしたい。また、各研修会でアナウンスをしていきたい。各地区でも「臨床検査技師の将来に係る話」の要望があれば話をしますので声掛けをお願いします。来年度の予算として、会費収入は 3,000 人 (8,000 口) を目標としている。目標数を達成することにより、今後、臨床検査技師の将来に関わる政治的な活動が運営できるので協力をお願いします。(森副会長)

- ・政治というワードを使用すると敬遠する方もみえるかもしれないが、法治国家の中の我々検査技師がある一定の立場を保つためには、法改正も必要と思われる。現在は、宮島議員 1 人だけで、今以上に増えれば良い事ですし、国会議員が不在になれば大変なこととなると思う。宮島議員が話されていたが、現在秘書はいるが、理想は技師会から秘書を出し、次期議員 (宮島議員の次の) になれるような存在の秘書を育成していきたいという考えもお持ちの様でした。そうすると秘書の資金も必要となる。今回、収入の現状を見ると秘書 1 人分の給料も出せるかわからない金額しかないため、活動ができない状況。このような話は聞いていると思うが、少なくとも理事の方は認識して頂いて、少しでも理解を広めてほしいと思います。今後ともよろしくをお願いします。(浅野会長)

(2) 令和 2 年都道府県支部に対する活動費の寄付について

- ・毎年限度は 5 万円。必要があれば申請をしてくださいという内容。来年度に関しては、森副会長とどの様な活動をするか確認をしながら、なんとか現在の残金で活動の目途が付くようなので、今回申請は見送るため申請額を 0 円で申請した。もし、急遽必要になった場合には、その都度申請できるため、必要時は申請をする。(浅野会長)

3. 第 69 回日本医学検査学会より

(1) 第 69 回日本医学検査学会一般演題座長候補推薦について

- ・前回の常務理事会で学術部長から 4 人の推薦があった。

輸血 森本さん (松波総合病院)

生理 今吉さん (大垣市民病院)

血液 渡邊さん (岐北厚生病院)

微生物 後藤さん (岐阜県総合医療センター)

(後藤庶務部長)

- ・以上の 4 人を候補として推薦した。日本医学学会では、おそらく宮島議員の情勢報告会が開催されると思う。開催される場合、各県のノルマが出てくるとされる。日本医学学会に参加される方を中心に参加協力をお願いしたい。場合によっては理事にも協力要請をす

るので、協力をお願いします。(浅野会長)

4. 第21回日本クリニカルパス学会学術集会より

(1) 「第21回日本クリニカルパス学会学術集会」における後援のお願い

- ・2020年11月6日(金)、7日(土)の2日間、長良国際会議場を主会場に開催。約2,500名の参加を見込んでいる学会長は松波総合病院の松波病院長。後援の可否をお願いします。

(浅野会長)

全員一致で承認された。

5. 岐阜医療科学大学より

(1) 学位授与式並びに終了証書授与式と入学式案内について

- ・毎年案内は着ている。3/19の学位授与式並びに終了証書授与式は、浅野会長が参加。4/3の入学式は、森副会長に打診をしている。返事を待ち返答をする。(浅野会長)

6. 岐阜県庁より

(1) 新県庁舎の建設にかかる県民説明会の開催について

- ・中濃(2/4 16時～)、西濃(2/6 16時～)、岐阜(2/7 16時～)、東濃(2/12 16時～)、飛騨(2/14 16時～)と説明会があったが、参加はできなかった。(後藤庶務部長)
- ・参加できなくとも問題はないと思う。必要であれば、また求めれば話は聞けると思う。現状は問題ないと思う。問題があれば県庁に問い合わせをしたいと思う。(浅野会長)

【岐阜地区より】

1. 1/31(金)に岐阜地区総会を開催した。場所：松波総合病院南館 1F MGH ホール。

岐阜地区総会員数 386名

出席者 23名

委任状 277名 過半数以上の参加により本総会は成立した。

議案

1) 令和元年度 岐阜地区理事活動報告

① 令和元年6月2日(日)

2019年度春季拡大研修会・定時総会(OKBふれあい会館) 運営委員長 藤本理事より

② 令和元年11月4日(月・祝)

第40回ぎふ市民健康まつり(岐阜市文化センター) 運営委員長 森理事より

2) 令和2・3年度 岐阜地区理事選出について

① 5グループ選出状況報告

1 グループ・・・佐々木健太 会員(岐阜大学医学部附属病院)

2 グループ・・・近藤眞一 会員(平野総合病院)

3 グループ・・・榎間利政 会員(岐阜市民病院)

- 4 グループ・・・渡邊景介 会員（東海中央病院）
- 5 グループ・・・笹川美佳 会員（羽島市民病院）
- 3) 今後の予定、4) 次年度の予定、5) 以下期日未定の研修会の報告をした。
- 6) その他

- ・平成 30・31 年度岐阜地区役員推薦委員
 - 第 2 グループ：武藤次郎 会員（岐阜赤十字病院）
 - 第 5 グループ：太田義和 会員（東海細胞研究所）
- ・令和 2・3 年度岐阜地区役員推薦委員
 - 第 1 グループ： 検討中（岐阜大学医学部附属病院）
 - 第 3 グループ：齊藤 大輔 会員（岐阜市医師会臨床検査センター）

- ・平成 30・31 年度岐阜地区選挙管理委員
 - 第 3 グループ：後藤美香 会員（岐阜市衛生試験所）
- ・令和 2・3 年度岐阜地区選挙管理委員
 - 第 4 グループ：大西紀之 会員（岐阜県総合医療センター）

以上 森副会長

- ・第 1 グループの役員推薦委員が決まりましたら、役員推薦委員から選挙管理委員に連絡をしてください。最終的には選挙管理委員長（岐阜市民病院 棚村さん）に情報が行くようによろしくお願いします。（浅野会長）
- ・岐阜地区の各施設の会員状況を把握するために事務所から名簿を送ってもらったが、情報が更新されていない方が多かった。（森副会長）
- ・技師長や各施設の連絡責任者の情報が更新されていない施設もある。来月に案内を出し、更新されるようにしていく。（浅野会長）

【西濃地区より】。

1. 1/31（金）に西濃地区総会を開催した。場所：大垣徳洲会病院 4階 会議室
西濃地区会員数：令和元年 12 月 20 日時点：161 名
総会出席者 26 名 委任状 98 名 合計 123 名 76%過半数 総会成立した。
総会報告内容
 - ①第 24 回「市民の健康広場」報告
 - ②組織調査部における HIV 予防啓発活動
 - ③第 58 回 岐阜県医学検査学会のご案内
 - ④西濃地区以外の活動報告（主に岐阜県臨床検査技師会として）
 - ⑤ 第 58 回 中部圏医学検査学会 報告
 - ⑥第 58 回岐阜県医学検査学会 西濃地区担当 準備状況報告
 - ⑦令和 2 年度 春季拡大研修会準備状況報告

⑧ 令和2.3年度 西濃地区理事選出について

令和2、3年度の西濃地区理事候補者

浅野 敦（大垣市民病院）

寺田 浩史（西美濃厚生病院）

林 淳司（メディック）の3名を西濃地区役員推薦委員より推薦させて頂きました。

出席会員の満場一致に西濃地区にて推薦決定。決議後、役員推薦委員会、選挙管理委員会に提出します。

⑨今後の予定、西濃地区及び岐阜県技師会活動について

以上を報告した。（外川理事）

2. 第58回岐阜県医学検査学会について

・3/15（日）に県学会が開催を予定している。日程表はHPにも掲載している。当初は演題がなかなか集まらなかったが、最終的には18題の募集があった。協力ありがとうございます。18題という事でタイトなスケジュールとなり、終了時間が16:00から16:20に変更となった。抄録一覧も作成でき、資料の発注（南進社）も昨日行った。2月下旬には資料はできあがるが、定期便には間に合わないかもしれない。一般プログラム（座長、スケジュール）も作成した。HPの掲載は未だですが、印刷は依頼している。

・予算書について：収入の部：参加費（100名）100,000円、広告料（14社）140,000円、ランチョン広告料（2社）100,000円、収入合計340,000円となった。広告料金は14社と例年より多かった。

支出の部：印刷代資料集（300部）（南進社）174,240円、横断幕1、懸垂幕3（南進社）79,200円、他消耗品、諸謝金、弁当代、会議費等を合わせ支出合計は534,710円となり収支差額は-194,710円となり例年通りとなった。資料集は300部に抑えた。施設100部、個人会員100部、当日100部の割り当てとした。当日100部は少ないかと懸念したが、例年余りが発生するので部数を抑えて300部とした。見積は2社で取り、旭クリエイトと比較し2万円ほど安いため南進社となった。3/5（金）に最終的な実務委員の会議を実施する。諸謝金は教育講演講師料30,000円のみ。市民公開講座講師料はメーカーの為0円。
(以上松浦理事)

3. 令和2年度春季拡大研修会について

・日時：令和2年6月7日（日） 午前9時受付 午前9時30分開始

会場：OKBふれあい会館 3階 大会議室（302）

メインテーマ：『これからの臨床検査』

➤ 臨床検査総合部門：サブテーマ「AI」

① 「臨床検査支援システム」アボットジャパンにて

② 「画像診断」シスメックスにて

➤ 生物化学分析部門：サブテーマ「臨床検査の目指すべき方向性」

➤ ランチョン 2演題予定調整中

- 市民公開講座 仮演題『高齢ドライバーの生体特性分析と運転支援エージェント開発に向けた取り組み』名古屋大学 未来社会創造機構 HMI・人間特性研究部門特任准教授 田中貴紘 先生
- 定期総会 14:30 分開始
- ・印刷代の資料集は 400 部が妥当か検討中。諸謝金について、臨床検査総合部門はメーカーのため講師料は 0 円、生物化学分析部門と市民公開講座で各 1 名（計 2 名）80,000 円を予定している。（以上松浦理事）
- ・春季拡大研修会の予算に関しては、5 月の理事会で承認を取りたい。資料集は「岐阜県医学検査学会抄録集および春季・秋季拡大研修会資料集 施設・自宅会員への配布中止（試行的）について」を最終ページに追加する。
- ・西濃地区総会について：役員推薦委員会は北平さん（海津医師会病院）、金山さん（関ヶ原クリニック）となった。選挙管理委員は児玉さん（大垣市民病院）となった。
以上浅野会長
- ・先ほど報告があった県学会の予算について承認の可否をお願いします。（浅野会長）
全員一致で承認された。
- ・承認を得たので、HP 掲載をお願いします。（浅野会長）
- ・春季拡大研修会について：春季拡大研修会後に交流会を行う。場所（岐阜駅前）は確保済み。幹事は昨年と同じスタッフが担当をしてくれる。今後、幹事スタッフ中心に進めていく。また、特に新人さんに参加していただきたいので案内をお願いします。担当は西濃地区で運用するが場所はふれあい会館のため、岐阜地区の方は、市民公開講座 PR の協力をお願いします。（浅野会長）

【飛騨地区より】

1. 2/8（土）に飛騨地区総会を開催した。場所は久美愛病院久美愛ホール。飛騨地区会員数 70 名、出席者 13 名、委任状 47 名。出席者及び委任状が過半数、以上により総会は成立した。
 - ①活動報告（前回の地区総会后～現在まで）
 - (ア)平成 30 年度 第 57 回岐阜県医学検査学会
 - (イ)高山市健康祭り

以上の活動内容と決算の報告を行い、承認を得た。
2. 今後の予定（令和元年度）の報告
3. 次期役員選出について
 - 役員：地区理事 3 名、選挙管理委員 1 名、役員推薦委員 2 名
 - 任期：令和 2・3 年度（2 年）
 - 役員選出方法
 - 地区理事：輪番表

	高山日赤	久美愛厚生	下呂温泉病院	金山病院	その他施設
平成 26・27		⊖	⊖	⊖	
平成 28・29	⊖	⊖			⊖
平成 30・31	⊖		⊖	⊖	

令和2・3		○	○		○
令和4・5	○	○		○	
令和6・7	○		○		○
令和8・9		○	○	○	

➤ その他施設：飛騨市民病院、須田病院、垣内病院、ファルコバイオシステムズ
飛騨

萩原北醫院（本年度から追加）

➤ 選挙管理委員：高山日赤、久美愛厚生、下呂温泉病院の3施設で、理事を担当していない病院から選出する。

➤ 役員推薦委員：その他施設（飛騨市民病院、須田病院、垣内病院、ファルコバイオシステムズ飛騨、萩原北醫院）より、理事を担当していない施設から2名を選出する。

● 役員候補

➤ 飛騨地区理事

久美愛厚生病院 菅沼康久

下呂温泉病院 小池正顕

飛騨市民病院 中桐あさ子

➤ 選挙管理委員

高山赤十字病院 堀之上亜紀子

➤ 役員推薦委員

ファルコバイオシステムズ飛騨 西田容子

萩原北醫院 向 史

役員選出方法を確認し、理事・選挙管理委員・役員推薦委員の候補者を推薦した。
その後、採決を行い、6名の方が選出された。

4. 令和2年度活動計画

(ア) 高山市健康祭り

令和2年10月4日 高山市保健センター

(イ) 秋季拡大研修会

日時、場所は未定

飛騨地区が担当となる。

活動計画が了承された。

5. 次年度の子定の報告

6. 参考

● 春季拡大研修会

岐阜地区、西濃地区の持ち回り

令和2年度：西濃、令和3年度：岐阜、以降繰り返し

● 秋季拡大研修会

飛騨地区、中濃地区、東濃地区の持ち回り

令和2年度：飛騨、令和3年度：中濃、令和4年度：東濃

● 岐阜県医学検査学会

岐阜地区、飛騨地区、西濃地区、中濃地区、東濃地区の順で持ち回り

令和2年度：中濃、令和3年度：東濃、令和4年度：岐阜、令和5年度：飛騨

※秋季拡大研修会は11/15（日）久美愛病院の久美愛ホール（100名程収容可能）を予定している。久美愛ホールは天井が高くなく、通常使用している正面の横型の幕が使用できないので、縦の幕を代用として検討している。（長谷部副会長）

・設定に決まりはないし、無理な場合はスクリーンに映し出しても良いと思う。（浅野会長）

・運用については今後詰めていく。学会のテーマや部門の講師は飛騨地区で決めるのか？（長谷部会長）

・テーマ等は学術で決めていく。（浅野会長・森副会長）

【中濃地区より】

1. 2/28（金）に中濃地区総会を開催予定です。場所は岐阜医療科学大学。（川合会計部長）
・役員に関しては早急に報告をお願いします。（浅野会長）

【東濃地区より】

1. 3/6（金）に東濃地区総会を開催予定です。（兼平理事）

【学術部より】

1. 令和2年度 新人サポート研修会について

- ・日時：令和2年5月24日（日）

- 会場：東海学院大学 131 教室 PC プロジェクター使用可

- 参加予定人数 100 人（技師会会員 70 名うち新人会員は 40 名、学生 30 名）

- ・内容は昨年同様、新人を対象に学術と社会人として必要な知識を身に付けていただく内容となっている。プログラムの修正点は、15：30～16：30 に（一社）日本臨床衛生検査技師会 宮島善文会長の情勢報告会を行う。今後の臨床検査技師についてお話しして頂く。
以上森副会長

- ・修正点として、

- （一社）日本臨床衛生検査技師会 宮島善文会長→参議院議員 宮島善文に修正をお願いします。また、情勢報告会は閉会後に行う。（浅野会長）

- ・予算書に関して

- 収入の部：研修会等参加費（70 名）70,000 円、日臨技助成金 50,000 円、ランチョンセミナー（2 社）100,000 円。合計 220,000 円。

- 支出の部：資料集 100,000 円（ネット印刷を使用した場合、格安で作成できるためネット印刷を予定している。）、会場費 0 円（東海学院大学の教室使用予定の為無料の予定。交渉中。）、食卓費 70,000 円（学生は自己負担）、諸礼金（謝礼 8 名：16,000 円；会員講師のため岐臨技規定により 30 分以上 2,000 円 x 8 名、交通費 8 名：20,000 円）、会議費：準備会議は学術部門長会議とメール連絡のみのため、当日日当 8 名分 8,000 円と交通費 8 名分 20,000 円。支出合計 234,000 円。

- 収支は-14,000 円。ネット印刷により支出が減少した。

（森副会長）

- ・研修会に学生が参加する場合、参加費は徴収しないが、学生にお手伝いをしてもらう場合はお弁当を支給してください。予算について承認の可否をお願いします。（浅野会長）

全員一致で承認された。

2. 部門長・副部門長 変更について

- (1) 病理・細胞部門：変更内容

- 部門長：大鹿さん（東海細胞研究所）

副部門長・精度管理：吉村さん（中津川市民病院）

部門員：日高さん（東海中央病院）

(2)臨床検査総合部門：変更内容

部門員：武藤さん（岐阜赤十字病院）

- ・おそらく各部門長が中部圏支部の部門員になると思う。部門長になられる方は支部部門委員の申請用紙の提出をお願いします。森副会長からも案内をお願いします。（浅野会長）
- ・新人サポートに関しては、宮島議員から情勢報告を行ってもらうが、新人さんも参加という事で、検査技師会から国会議員を輩出している事や国会議員の必要性等の理解をしていただくためをお願いした。宮島議員のスケジュールは14時48分岐阜羽島駅着のためギリギリになるかもしれないので、閉会后宮島議員が到着するまでの時間調節をお願いします。（浅野会長）

【精度管理事業部より】

1. 精度管理報告会

- ・第3回精度管理事業部会議を2月2日（金）精度管理報告会前に行った。

出席者は16名。大きい内容について

役員変更について

部長：佐藤恵彦（関中央病院）→武藤延秋（東濃厚生病院）打診中

副部長：田中滋人（岐阜市医師会センター）→渡邊景介（東海中央病院）

免疫：武藤延秋（東濃厚生病院）→検討中

会計：山本初津恵（東海学院大学）→田下、水川、斎藤のいずれか。

企画・製本：玉置、山本、田中→田下、水川、斎藤

輸血：八木良仁（県立多治見病院）→樋口布抄子（可児とうのう病院）

生理：渡邊恒夫（岐阜大学附属病院）→検討中

部長、副部長の変更に関しては、6月の総会において承認後決定となる。今回は、精度管理事業部から選出（選出中）をした。

- ・精度管理報告会について

参加者：87名（会員78名、メーカー9名、1名は愛知県から）、助成金は5万円受給した。

- ・精度管理調査、報告書修正について

輸血検査37施設、一般検査6施設の報告書を修正した。輸血の試料51は判定に苦慮する試料であり、最終評価についての問い合わせを受け、配布前の検証結果や参加施設の回答を確認した結果、検体として不適切であると判断し最終評価報告後ですが、評価対象外とした。一般検査の尿潜血定性の試料32について、当初1番多い回答を目標値としておりましたが、栄研化学の自動分析機を使用している施設におきまして判定にメーカー間差が生じたため、目標値の変更を行いました。対象施設には近日中に再送付する。

対象施設以外も含め「お詫びと訂正」を送付する。各施設の修正表に関しては、JAMTQCから打ち出すことができる。施設の評価表が変更になる施設にはすべて再送付する。(佐藤精度管理部長)

- ・精度管理事業部メンバーが大幅に交代するが、サポートはよろしく願います。報告書修正について、外部精度管理はますます質を問われる為、是非密な精度管理にしたい。(浅野会長)

【組織調査部】

1. 都道府県リーダー育成研修会について

- ・2/9(日)に開催された。参加は20名参加予定であったが、1名はインフルエンザで欠席となったため、結果19名の参加となった。活発にグループディスカッションなどされて良い研修会になったと思う。

収入の部：参加費(19名)19,000円。収入合計19,000円。

支出の部：製本費0円(岐臨技事務所にて印刷の為)、会場費0円(岐阜清流病院使用のため)、食卓費21,000円(1,000x21個(お茶付き、講師分含む))、講師等謝礼11,137円(丸田常務理事(0円日臨技負担)古野氏1万円+源泉税)、講師交通費1,113円(丸田常務理事(0円日臨技負担)古野氏1,000円+源泉税)、日当17,000円(準備委員会と当日運営：計3回：4名+4名+9名)、交通費22,000円(準備委員会と当日運営：計3回：4名+4名+9名)、雑費(グループワーク使用文具)4,951円、食卓費(講師お菓子)138円、合計77,339円

収支：-58,339円

決算書の承認をお願いします。(澤野組織調査部長)

- ・なかなか盛況であった。グループワークは盛り上がりを感じた。予算報告について承認の可否をお願いします。(浅野会長)

全員一致で承認された。

- ・来年も開催されると思うのでよろしく願います。(浅野会長)

2. 令和2年度 初級職能開発講習会について

- ・10/11(日)に令和2年度 初級職能開発講習会を開催予定している。(澤野組織調査部長)
- ・単年度開催の予定であったが、日臨技か、令和2年度より継続的に各都道府県開催の要請もあり承諾をした。関さん中心で進めてもらっている。多くの方参加をお願いします。案内が到着したら、技師長を通じて選出をお願いします。(浅野会長)

【広報宣伝部】

1. 特になし

【渉外部】

1. 特になし

【会計部より】

1. 会計報告について

①12月月別決算と12月合計について

・12月分まで会計確認を行い、会計は適切に処理をされていた。今月末に12月分と1月分の会計突合せを会計士と共におこなう。12月までの月別決算表：12月の経常収益計は¥249,137円、経常費用計は¥1,576,691円、経常増減額は-1,327,554円と赤字であった。秋は岐臨技のイベントの大半があったため、支出が増え赤字も増えた。また、収入は年度末に向け徐々に減ってくるので収支は赤字になっていくと思う。

12月までの合計：12月まで経常収益計は14,460,850円、経常費用計は11,975,869円、経常増減額は2,484,981円の黒字であった。

12月までの予算とH30年度の差額：経常費用計予算11,975,869円、収益予算14,183,700円、差額2,207,831円であった。年度終了まで3ヵ月となり、単純計算で約70万円/月となる（昨年は約100万円/月のため）ため、予算はオーバーすると思われる。実際の収支を昨年と比較すると、現在は2,484,981円の黒字、残り3ヵ月で約80万円/月となる。昨年の残り3ヵ月の支出が約70万円台/月のため、昨年よりもギリギリな黒字になると推測している。中部圏支部学会の100万円も戻ってくるが、こちらには頼らずに運営できると思う。（川合会計部長）

・経常収益に関しては、すでに予算を上回っている。（当初の見込より収益は多かった）中部圏支部学会への100万円貸出分もあり、その分の支出が少なくなっている。中部圏支部学会の赤字に関しては、日臨技から全額補填してもらい振り込みも完了した。未払分も支払いし残高は100万円ほどある。そのため100万円が全額返金され、予算に組んであった支部学会用の45万円も使用しなくてもよいかもしれない。以上の事から、残金は2,484,981円+約100万円+収益を含めると360~370万円ほどになり、約120万円/月で収めれば赤字にはならないと思う。1~3月は昨年から推測すると支出も多くないので心配はないと思う。一般社団法人のため、大きな黒字を作ってもいけないし、もちろん赤字でもいけないのでなかなか調整は難しい。来年度に向けての予算編成に今年度の結果が大きく左右する。予算編成も適正に組んでいただきたい。（浅野会長）

2. 中間決算について

・中間決算については、会計部と会計士、（先月の）常務理事会の確認は終了している。

収支計算書について

（1）経常収益の①入会金・会費収入の「正会員会費収入」の中間決算額は、実際に入金のあった額の半分を計上し、残りの半分は前受金として下期の収益としています。予算との差額が大きい科目は「支払助成金」の「地区活動費」です。中部圏支

部医学検査学会事務局に事前活動費が不足していたため、予算額450,000円のところ1,000,000円を支出しました。学会終了後精算される予定です。

正味財産増減計算書について

当年度と前年度の中間決算額の比較です。

前年度と差額の大きい科目（前年度±100,000円以上）

(1) 経常収益

①事業収益の「正会員会費収入」の増加は正会員の増加（13名）によるものです。

②事業収益の「精度管理参加費」の減少分は下期に入金の予定です。

(2) 経常費用

「旅費交通費」の減少は、岐阜県医学検査学会・春季拡大研修会の打合せ会議、病理細胞部門・臨床生理部門の研修会、精度管理部の会議・作業、人材育成部会の研修会（リーダー育成講習会など）・会議などで減少したこと、選挙管理の会議・作業が行われなかったことによるものです。

「食卓費」の減少は、西濃地区・飛騨地区の健康イベント、新人サポート研修会、精度管理の会議・作業、人材育成部会の研修会（リーダー育成講習会など）・会議で減少したことによるものです。

「地区活動費」の発生は中部圏支部医学検査学会事務局に事前活動費を支出したことによるものです。

貸借対照表・財産目録について

I資産の部で、昨年度「未収金」とした精度管理参加費の未納分は、精度管理調査が上期に限った事業ではないため、今年度から上期の未収金とはしないことにしました。

II負債の部の「前受金」は、正会員会費の半分を下期分としたものと、下期開催の検査と健康展の助成金が上期中に入金があったものです。

III負債の部の「預り金」は上期の給与所得税のうち上期中に納税していないものです。
(川合会計部長)

・中間決算についての承認の可否をお願いします。(浅野会長)

全員一致で承認された。

3. 予算に関する検討事項について

・会計士より「今後、理事会の予算決定と予算開示のタイミングで、修正が間に合わない場合どうするかを検討してください」と連絡があり「理事会で検討する」と返答をした。現行は、中間決算は2月の理事会に提出して承認。同時に次年度の事業計画と予算も2月の理事会で承認。2月の理事会を逃すと、次の理事会は5月のため、2月の理事会がタイムリミットとなる。2月の理事会に間に合わないタイミングで、新たな事業が発生した場合、「どのように扱うか、決めておいた方がよろしいですよ。」というのが、牛丸会計士のご指摘だった。そもそも予算というものは、事業があつての予算であり、毎年12月

に各部署から事業計画、予算を提出し予算を組んでいる。今回の検討に至った経緯は、初級職能講習会を H30 年に開催した際に、予算立てをするのを忘れ、常務理事会終了後に再度予算を付けて会計士に提出した経緯がある。このようなケースが理事会後に起こった場合どうするのか？というのが経緯であった。まず、大きな日臨技の事業は年度末には行われるとは考えにくいので、慎重に運用すれば予算漏れはないと思う。理事会で承認されなかった（申請が間に合わなかった）場合も含まれると思う。年度を越すと予算の意味合いもなくなり、年度内に起こった問題は何度内に処理しないとイケない。部門の小さな研修会が 1 回増えることは問題ないと思うが…予算に必ず計上しなくてはイケない事業に関しては検討しなければイケないかもしれない。（川合会計部長）

- ・いろいろな考えがあり、そもそも（事業を）入れない事が一番良い。どうしても事業を入れる事は、現在は想定できないので、先ずは入れない事と思う。事業計画に限らず、早急に承認を得たい件が発生する事もあり得るので（過去にも実際あった）、その際は電子的な承認を得るという方法もあるので、その場合はメールで承認を得る事にしたい。このように対応したいと思う。（浅野会長）

【その他】

1. 来年度定時総会の議案について

- ・第一号議案については、通常の事業報告、会計報告、監査報告、役員改選等となるが、第二号議案として、岐臨技定款 第二章会員（法人の構成員）第 6 条（1）正会員 条件変更の承認を得たい。

現在：正会員 臨床検査技師または衛生検査技師の資格を有し、この法人の目的に賛同して入会した個人

改訂後：正会員 臨床検査技師または衛生検査技師の資格を有し、かつ日本臨床衛生検査技師会の会員であり、この法人の目的に賛同して入会した個人

改訂の理由：令和元年度の日本臨床衛生検査技師会総会（以下、日臨技）で、『日臨技会員となるには都道府県技師会の会員であること』に条件変更された。岐阜県臨床検査技師会（以下、岐臨技）は、各事業の運営・会員サポートにおいて日臨技と両輪で進めている認識を持っている。また、日臨技は、医療事故保険の自動加入や自然災害被災補償、生涯教育制度の履修等、臨床検査技師としてのサポート体制が充実している。よって、岐臨技正会員の条件を、『臨床検査技師または衛生検査技師の資格を有し、かつ日本臨床衛生検査技師会の会員であり、この法人の目的に賛同して入会した個人』に変更するものである。（浅野会長）

- ・第三号議案として岐臨技定款 第二章会員（法人の構成員）第 6 条（2）名誉会員 新名誉会員の承認を上げたい。（浅野会長）
- ・名誉会員対象者は近藤 眞一さん（平野総合病院）。理事等を 21 年勤められているため対象となる。兼子さんは会員の年数が足らなかった。（澤野組織調査部長）
- ・名誉会員の対象者が 1 人みえるため、総会に諮り承認を得たいと思うが、まずは理事会で

推薦をするか決議を取りたい。名誉会員の条件は、会員になって30年以上かつ年齢が60歳以上、岐臨技の役員（会長、副会長、常務理事、理事等）を10年以上務めた方となっている。以上の条件に当てはまった方が近藤さんになる。近藤さんを名誉会員に推薦する事に賛同の可否をお願いします。（浅野会長）

全員一致で承認された。

- ・承認を得たので、総会では第三号議案として岐臨技定款 第二章会員（法人の構成員）第6条（2）名誉会員 新名誉会員の承認を加えたいと思います。庶務部で議案書の作成をお願いします。（浅野会長）
- 2. 岐阜県医学検査学会抄録集および春季・秋季拡大研修会資料集 施設・自宅会員への配布中止（試行的）について
 - ・前回の春季拡大研修会の報告（東濃地区）の時に資料集の配布についての意見もあり、その際は「自宅会員に対して配布中止」で了承を得たが、その後（会長が）思案し「岐阜県医学検査学会抄録集および春季・秋季拡大研修会資料集の施設・自宅会員への配布中止」を試行的に行おうと思った。理由としては、人件費の値上げ・材料費の高騰・消費税のアップといった背景を持ち商品単価が上がってきています。岐阜県臨床検査技師会では、会員のスキルアップや技師会組織力向上および公益事業を目的に事業計画に則って、例年、学会・研修会等を企画・開催してきていますが、当然のことながら各事業にかかる費用も膨らみつつあります。現状、岐阜県臨床検査技師会は単年の収支決算でも赤字には転じていませんが、今後の予算執行に関しては大いに懸念されるものと認識します。つきましては、支出軽減を目的とする一案として、令和2年度で試行的に、岐阜県医学検査学会と春季・秋季拡大研修会の抄録集・資料集（製本版）の配布を当日参加者のみとさせていただくことを考えています。当日参加されない方は、事前に岐阜県臨床検査技師会 HP にアップロードされた抄録集・資料集をダウンロードしてのご参照が可能です。1年間ほど運用してみて、会員・賛助会員の皆様に多大な支障をきたす結果であれば運用の見直しを行い、そうでなければ継続的に実施していきたいと思う。以上の案内を2月の定期便で郵送したいと思う。この案に意見等ありますか？（浅野会長）
 - ・3月の県学会の資料集に関しては、HP 上閲覧を可能にしていけないといけないか？（松浦理事）
 - ・次年度からにしているが、今後を含めある一定のタイミングでアップロードしていけないといけない。（浅野会長）
 - ・資料集は会員しか見る事はできないが、HP は会員以外も閲覧できてしまうため、HP 掲載に関する発表者の承諾等必要になるのではないか？（松浦理事）
 - ・それに関しては事前に了承を得るシステムにしていけないといけない。また、決まったパスワードを設定する方法もある。資料集の配布中止だけで変わるとは思えないが、根本にあるのは会費が全国で一番高い1万円という事。そこを先々減らしていきたいと思っている。研修会も春秋で2回ではなく、1回に減らす案もあると思う。ただ現在は公益目的の

支払いがあるため、研修会の数等の検討は、支払い終了後になると思うが…。こういう状況の中で支出を抑えつつ、会費に反映できればと思っている。その第一歩が今回の案です。この取り組みに関して、賛同の可否をお願いします。(浅野会長)

全員一致で承認された。

- ・理事会で承認を得たという事で2月の定期便で郵送したいと思う。もし説明を求められた場合は了承して頂けるように説明をお願いします。(浅野会長)

3. 令和2年度 事業計画について

- ・各部長より事業計画(案)について説明があり、修正等の指摘をおこなった。
- ・修正後庶務部にメールで送付し、庶務部がまとめ各部長にメールで送付。各部長確認後にHPに掲載することとなった。

4. 令和2年度 収支予算について

- ・予算に関しては、会計部で打ち合わせし会計士の確認も済んでいる。常務理事会でも承認を得たが、組織調査部の初級職能開発講習会が含まれていなかったため修正した。
- ・前年度と差額の大きい科目(枠外の右の「差額」±100,000円以上の説明)

(1) 経常収益

「正会員会費」は、前年度実績より増額しました。

「学会研修会助成金」の減少は、学術4部門とベットのサイド実践講習会中止による減額分です。

(2) 経常費用

「消耗什器備品費」は、前年度事業である岐臨技事務所パソコン更新作業の終了に伴い、計上していた予算がなくなり、減額となりました。

「修繕費」は、岐臨技事務所トイレ修繕費用を計上し、増額となりました。

「講師等謝礼」の減少は、学術5部門とベットのサイド実践講習会中止による減額分です。

「支払報酬」は前年度、会計士報酬の見直し(入札による改定)を行い、増額となりました。

「地区活動費」は、前年度事業である中部圏支部学会終了に伴い、助成金として計上していた

予算がなくなり、減額となりました。

(3) 管理費

前年度と差額の大きい科目はありません。

- ・前年度との差額の大きい事業(収支予算の下の「差額」±100,000円以上の説明)

「臨床生理部門事業」は、(2)経常費用科目「日当」、「旅費交通費」、「講師等謝礼金」を減額したため、「経常費用計」は減額となりました。

「中部圏支部学会事業」は、前年度に事業を終了しました。助成金である(2)経常費用科

目「地区活動費」の予算がなくなり、「経常費用計」は減額となりました。

「初級・職能開発講習会」は、平成30年度に開催した事業です。令和2年度に新しく行う事業として再開となったため、予算計上し「経常収益計」は増額となりました。

「ベットのサイド実践講習会事業」は日臨技の意向により、令和2年度は開催中止となったため、予算計上を見送り、「経常収益計」、「経常費用計」とともに減額となりました。

「その他会計」の「共通事業」の説明。(1) 経常収益 科目「正会員会費」、「賛助会員会費」、「受取補助金等」を前年度・前々年度の実績から増額し、「経常収益計」は増額となりました。

(2) 経常費用 科目「日当」、「旅費交通費」、「食卓費」、「配送費」、「消耗品費」、「印刷費」、「租税公課」、「支払負担金」を前年度・前々年度の実績から増額し、「経常費用計」は増額となりました。

- ・令和2年度の予算案の経常収益計、経常費用計ともに14,546,200円、前年度収益計は14,183,700円、差額は362,500円となり今年度に比べ多くなっている。

以上川合会計部長

- ・会員の増加に関しては、令和元年は850名で算出したが、実際は約890名と意外と多かった。今後会員数もどこまで増加するのか予測できないため、今回は910名で算出（予算からみると60名増加）した。支出に関してはトイレの修繕があったが、什器消耗備品費は聞いていない。（浅野会長）
- ・什器消耗備品費に関しては、事務所の床に積んである物を棚に収納したいと事務所スタッフから要望があり、10万円以下の予算として計上している。（川合会計部長）
- ・床に積んである物をみると、使用しないと思われる物もみられるため、処分をしつつ棚を設置していきたいと思う。研修会等も例年通りの開催になるので概ね予算案に関しては問題ないと思われる。また、今後黒字になるようであれば会費値下げを検討していきたいと思う。（浅野会長）
- ・会費の安い県はいくらですか？（川合会計部長）
- ・5,000円の県もある。事業内容や母体にも関係してくる。会員数の多い県は、事業を開催するにあたって、参加者が3倍であれば3倍の経費が必要か？となるが、そこまでは経費はかからない。会員数が多い県は、会員収入（会費）が低くても総額が多いので、会費の値段は一概には比べにくいと思う。岐阜県に関して会員数は900名弱ですが、事業内容（充実性）をみると他県に引けを取らないと思う。必要性の基準をどう設定するかにもよる。会費を減らしたいから事業を減らすという訳にはいけないし、会員の意識も関係してくる。その辺りを諮った上で会費を下げる等を検討していきたい。（浅野会長）

5. 岐阜県医療勤務環境改善支援センター運営協議会について

- ・2/4（火）に岐阜県医療勤務環境改善支援センター運営協議会の会議があった。内容は、診療報酬改定の項目にもある医療従事者と医師の働き方改革についての「タスクシェアリ

ング/タスクシフティング」について、各団体がどのような取り組みを行っているか？であった。主なコメディカルの参加団体の岐阜県臨床検査技師会、岐阜県診療放射線技師会、岐阜県理学療法士会、岐阜県薬剤師会他が、岐阜県医師会 岐阜県歯科医師会等に報告をした。次回は、2/19（水）に上記に関する勉強会があるので各施設には案内が送られていると思われるので、参加される方はよろしくお願ひします。（森副会長）

- ・日臨技から厚労省にどんな要望が提出されたか情報として出ていたと思う。日臨技からの要望と他団体が出した要望とマッチングした要望は少なかったと思う。最終的にどこまで業務移管や教育ができるか、中央だけではなく県単位でも話し合いができ充実したものになれば良いと思う。そのためにも積極的な参加をよろしくお願ひします。診療報酬が公開されているが、採血料が5点（30点→35点）上がった。がん関連の見直しもされている。定期便でも郵送したので確認をお願ひします。（浅野会長）

6. 事務所のインターフォンについて

- ・事務所のインターフォンの調子が悪い。音が鳴らない場合や、鍵が開かない場合がある。（後藤庶務部長）
- ・事務所から管理会社に連絡をお願ひします。（浅野会長）

7. 事業報告について

- ・4月の常務理事会で事業報告の協議を行う。担当者は庶務部長に資料を送ってください。（浅野会長）
- ・次回常務理事会は4/17（金）に開催。

議長 浅野 敦 

議事録署名人 森 晴雄 

議事録署名人 糸山 里美 